

会 報

2014-15 飯田年度 Vol. 24

2014/12/18

つくば学園ロータリークラブ

It is the 29th year since 1986

12月18日（木） 例会報告

index

点鐘／幹事報告／茨城赤十字血液センター卓話／山崎会員卓話／ニコニコBOX／他

監事報告

大堀健二幹事



みなさんこんにちは。石岡RCさんが例会変更になっております。いのちの電話コンサートが開催されます。12月23日茨城県総合福祉会館にて入場無料です。以上になります。

新入会員紹介バッジ・誕生日記念品の授与

新入会員紹介（石井一会員）

誕生日（池田一郎会員）



茨城県赤十字血液センター卓話

佐藤純一所長

みなさんこんにちは。ご紹介いただきました血液センター所長の佐藤でございます。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。本日は献血について、茨城県の状況、つくば市の状況をお話しさせていただきます。血液センターの業務をご紹介します。まず皆様方から貴重な血液を献血という形でいただいております。献血は街でお見かけするバスで、茨城県には6台ございます。だいたい毎日県内を





バスで献血のご協力をいただいております。それに献血ルーム（固定施設）が3カ所、つくば献血ルーム、水戸の駅前、日立駅前で毎日お願いをしております。いただいた血液は埼玉の東松山にある関東甲信越ブロックセンター埼玉製造所に運ばれます。そこでいただいた血液が安全に使えるか各種の検査をし、また赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤と分けて保管し茨城県に戻していただき、水戸にあるセンターと土浦出張所の2カ所から365日24時間医療機関に血液をお届けしています。赤血球は茨城県では1日に200mlの献血に換算すると400～450人分の血液を毎日供給しております。医療機関では色々な病気に貴重な血液を使わせていただいております。一番多い使用は悪性新生物、いわゆる癌です。癌で手術をしたり抗がん剤の使用により骨髄を抑制して血液が作れなくなり輸血を必要としています。その他白血病や心臓手術等に血液を使用させていただいております。

献血をお願いしている年代は10代から40代の方が80%を占めています。しかし輸血を使う方の方は、80%以上が50代以上の方です。若い人からいただいた血液を、高齢者に使わせていただいている大きな流れです。昨今、少子高齢化が進んでいるので献血を支えてくれている若い人達の数が減り、血液を必要とする高齢者が増えています。このままの状況で行くと輸血用の血液が足りなくなる危機感が持たれております。1990年代にも血液を必要とする方の伸び率と献血をいただく人の数を比べてこのまま行くと西暦2000年には不足するという予測が立てられたことがあります。幸いなことにそう言うことにはなりません。当時は200ml献血が主流を占めていました。400ml献血をすすめ、1人の方から2倍の量の献血をいただくことによって血液を補っていました。その方法が現在でも通用するかというと400ml献血は茨城県で80%の方をお願いしております。これを更に高めていくことも重要ですが、それ以上に若い方に献血の意義・意味を理解していただき、一人でも多くの方に献血をしていただき絶対数を増やして将来来る少子高齢化による不足を乗り切ろうというのが現在の方策となっております。

茨城県、つくば市の状況についてです。茨城県内での輸血用の血液製剤はほぼ横ばいできております。赤血球製剤の在庫状況は実際には血液不足をおこさずに済みましたが、しかし茨城県内だけで献血をいただき輸血をした場合には、前半は県内だけで供給できましたが、後半は寒くなり献血者数が減ってきた等により県内だけでは大きなマイナスがでたのが実情です。献血者数も若い人達10代～30代の方が減っております。つくば市だけのデータも若い人達の献血が減っております。40代、50代の献血は増えてきております。以前献血をしたことがある方が呼びかけにこたえて献血してくれている数字だと思えます。献血ルームを含まない移動バスでの献血はつくば市は少し少なめの人数です。

最後に献血していただく量を増やしていく必要がございます。どうぞこれからもご理解ご協力を賜ればと考えております。ありがとうございました。

会員卓話

山崎幸登会員



こんにちは。今日は再生医療について経済産業省からいただいた資料をもとに説明させていただきます。

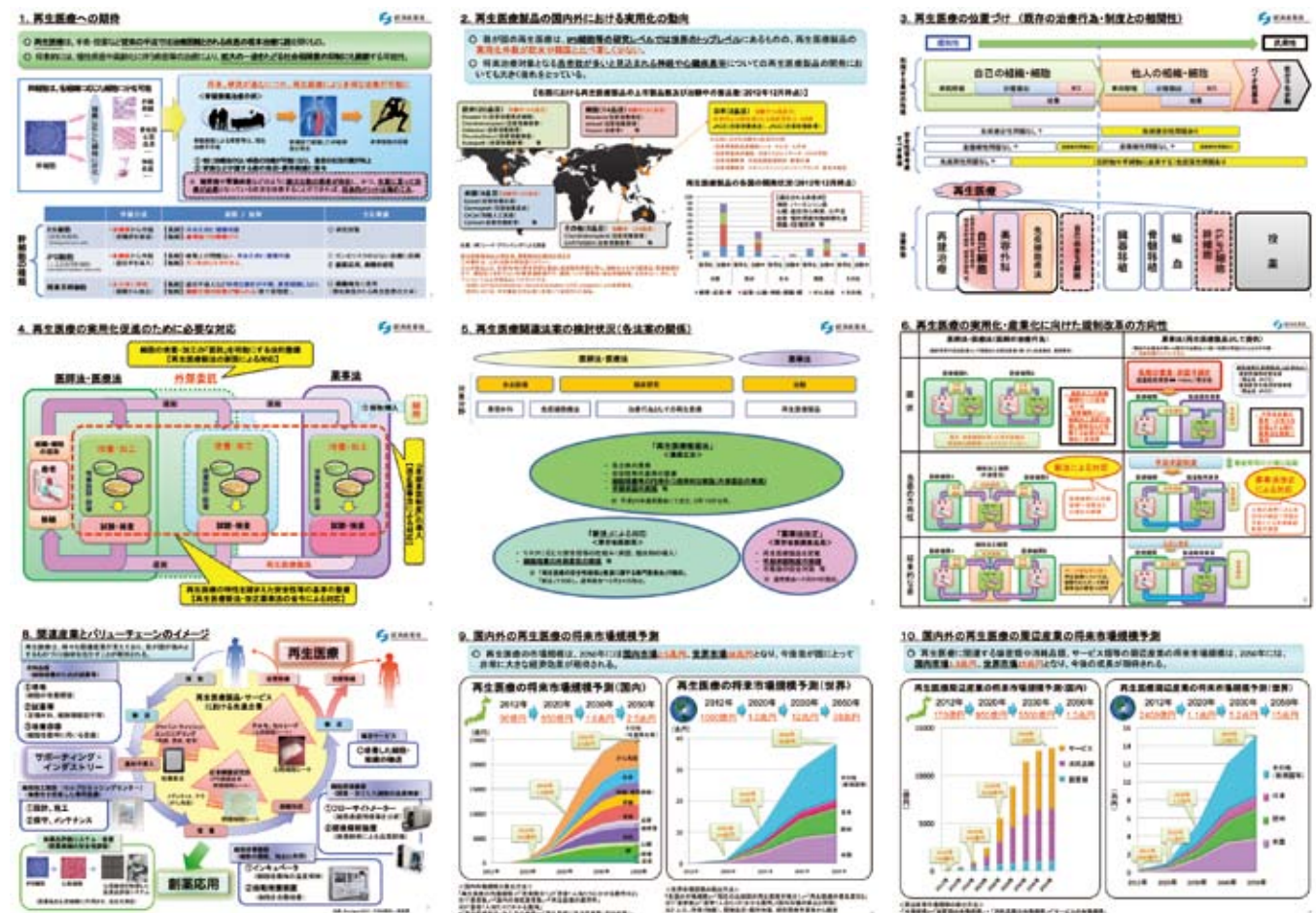
再生医療とは何ぞやということになりますが、もともと再生医療という言葉はありませんでした。iPS細胞とかES細胞がでてきて再生医療という言葉が出て来ました。最終的には社会保障、医療費が減らせるであろうということが国の目論見です。先程の血液センターさんのお話にもあった様に血液が少なくなっております。血液製剤を作るのも再生医療で含まれてやれると考えられ

ています。再生医療とはみなさんの身体の中にある幹細胞が再生医療の基本となっています。加齢黄斑変性をiPS細胞を使って治したり、心筋梗塞を治した、膝軟骨の歩けない人を治したりと今までの薬では治せない、今までの治療では治せない疾患に対して再生医療は効果があると考えられています。幹細胞は話題になったES細胞、iPS細胞、間葉系幹細胞とあります。すべてが半永久的に増殖できる、1つの細胞が半永久的に細胞分裂をおこせる。その中で細胞から分化する。細胞分裂と分化とは違います。

再生医療には個別性と汎用性があります。自分の細胞から幹細胞系細胞を取ってきて再生医療にする。それと他人の組織、細胞から細胞から取ってやるES細胞やiPS細胞、それと培養医薬品、薬に近いもの、製剤です。自己細胞からは何かというと単純移植、再建治療で自分のお尻の皮膚を取ってきて火傷のところを治すとかです。他人のものをいじるのは臓器移植です。

再生医療は、自己細胞を使ってやるもの美容整形とか免疫療法とかあります。さらに加工して自己由来のiPS細胞を使って、自分から取ったiPS細胞を使って臓器を作って元にもどす。他人から作ったiPS細胞やES細胞をつかった幹細胞から他人に移すということです。中略

非常に駆け足でしたが、再生医療の一部を垣間見ていただければと存じます。ありがとうございました。





12月18日 会場スナップ





12月18日(木) ニコニコBOX 古本朝彦副SAA



本日は、10名のニコニコでした。ご協力いただきありがとうございました。

本日の合計	¥21,000.-
本年度累計	¥755,000.-

阿部 哲次	先日のクリスマス、妻のビンゴで「知可良」を当て、息子が大変喜んでいました。
池田 一郎	悲報で申し訳ありません。娘（16歳）に彼氏が出来てしまいました。リアクションの資正解が分かりません。
石井 一	来週の例会は欠席になりますので、今年、最後の例会になります。皆さん、今年はいろいろお世話になりました。
大堀 健二	親睦委員会メンバーの皆さん、先週は楽しいパーティーありがとうございました。木村家のノロバクダン不発で良かったです。
岡田 哲也	寒い日が続いてます。体に気を付けて行きたいです。
鬼沢 一彦	クリスマスパーティーご参加有難うございました。御見苦しい点、不行き届きな点ご容赦下さい。なお、関彰商事 路川様より、協賛品、マグカップを5個をいただきました。ご紹介モレがあり失礼いたしました。他にもご報告漏れがありましたら、鬼沢までお願いします。最後に親睦活動委員会メンバー、多大なご負担ご協力ありがとうございました。
木村 英博	先日は、楽しいクリスマス会をありがとうございました。鬼沢さんのキレキレのダンスに、私の長男がドン引きしてましたが……。また、職業フォーラムでも良い経験をさせていただきました。感謝！
中山 正巳	岡ちゃん、血圧220UPなら血液センターで少し抜いてもらえない。血圧下げないと死んじゃうよ！血液センターさん卓話有難うございます。定期的に献血するよう心がけます。「皆さん！ 来年もよろしくお願いします。」
馬場 清康	佐藤所長さん、卓話ありがとうございました。血液センターの役割、そして県内の状況が良くわかりました。血の気の多いクラブ員は、こぞって献血しましょう！ 社会の役に立ち、精神衛生上も良くなって一石二鳥です。
山崎 幸登	卓話をお聴きいただき、ありがとうございました。つたない話で、申し訳ありません。今後、最新の情報をお届けできるよう頑張ります。

12月18日(木) 出席報告 阿部哲次出席委員

本日のお客様

下館RC青少年奉仕委員長	神山芳子様
株式会社ウェルシード	塙 久美子様
茨城赤十字血液センター所長	佐藤純一様
血液推進課	路川光一様
土浦出張所長	中山修一様



無断欠席ゼロ、出席率向上を目指して

会員数	出席数	欠席数	内無断 欠席数	出席 免除	メイク ゲスト	出席率
70名	47名	23名	9名	5名	5名	78.78%

※出席率は暫定値

クラブ会報・広報委員長のぼやき

赤十字血液センターの方の卓話を聞きましたが、残念なことに血圧と糖尿の薬を飲んでいる私にはご協力できないことが。現在血圧の方は薬のおかげで正常値に近づいてきました。このまま薬を飲んで治療していきたいと思います。今回は専門用語が多すぎて頭痛い！



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
(第 2650 地区)

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047 茨城県つくば市千現2丁目1番6

つくば研究支援センターA28

電話：029-858-0100 FAX：029-858-0101

E-mail : gakuenrc@46gama.com

例会日 木曜日 12:30~13:30

例会場 オークラフロンティアホテルつくば
つくば市吾妻1丁目1364-1

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>